

平成 31 年 3 月 15 日
社会福祉法人 みんなでいきる
障害福祉事業部 りとるらいふ
事業部長 金子 友紀

平成 30 年度「放課後等デイサービス」アンケート調査結果の公表

当法人では平成 27 年 4 月に厚生労働省が放課後等デイサービスの支援の質向上を図るために定めた「放課後等デイサービスガイドライン」に基づき、職員、保護者の皆様へアンケートを実施いたしました。ご利用者様、ご家族の皆様から安心してご利用頂けるよう、サービスの向上を目指し、定期的に事業所の自己評価をして公開いたします。

アンケートにご協力いただきました皆様より貴重なご意見やご要望をたくさんいただきましたこと、この場をお借りし御礼申し上げます。

記

以上

アンケート調査対象事業所

放課後等デイサービス ららん（新潟県上越市石橋 2-3-31）

放課後等デイサービス にこ（新潟県上越市寺町 2-20-1）

放課後等デイサービスきら（新潟県上越市石橋 2-10-12）

全23名		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備		子どもの活動のスペースが十分に確保されているか	67%	33%	0%	・狭いのではと感じます
		職員の配置数や専門性は適切であるか	73%	27%	0%	
		事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	90%	10%	0%	
適切な 支援の 提供		子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	73%	27%	0%	
		活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	60%	40%	0%	・毎月のプログラムに制作活動が入っているのでも良いと思う。
		放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17%	50%	33%	・交流があっても良い
保護者 への 説明等		支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	80%	20%	0%	
		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	90%	10%	0%	・優しく、細やかに対応して頂き、ありがとうございます
		保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	63%	30%	7%	
		父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13%	63%	23%	
		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	63%	37%	0%	・内容は知らされていない ・苦情や意見を言った事はないが、職員さんを見ていると適切に対応していただけた感じがします
		子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	87%	13%	0%	
		定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	77%	23%	0%	
	個人情報に十分注意しているか	83%	17%	0%		

非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	67%	30%	3%	・感染症については、OK
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	83%	17%	0%	
満足度	子どもは通所を楽しみにしているか	87%	13%	0%	・手作業作品もあり、とても工夫して頂いています ・らんへ行くのがとても楽しみにしています
	事業所の支援に満足しているか	93%	7%	0%	・緊急対応もして頂き、とても感謝しています ・個人ではなかなか連れ出せず、日曜日のイベント日は、とてもありがたいです

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	25%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の利用状況では適切である ・感染症の発生時、部屋の確保が難しい ・人数に合わせてスペースを大きくしたり、小さくしたり工夫している
	2	職員の配置数は適切であるか	38%	63%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・支援度の高い利用者の人数により配置が適切でない場合がある ・日によって極端に人数の少ない日も有り、どちらともいえない ・支援度の高い利用者が多い場合職員の配置を考える必要がある ・配置基準を満たし、かつご利用者様のニーズに応えられるように職員を増やしている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・段差が少なく、車椅子対応は適切である。 ・現在、工事の為はなれ玄関の下駄箱がスロープを狭くしている為見直しが必要
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	63%	38%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃のミーティングの時間があり反省点、改善点の話し合いは充分出来ている ・よくわからない ・当該事業所以外の職員も参画が望ましい ・業務の効率化など職員で話し合い、実際に行い、難しいようであればまた違う方法を試すなど、常により良い方法をチーム全体で模索している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	38%	63%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートで保護者の意向を把握しているが業務改善に繋がっているかわからない ・一定の課題意見の改善は図る事が出来ている ・他所をまたぐ内容は一事業所では改善できないものもある ・昨年度のガイドラインの意見を参考にさせて頂き、今年度日曜日イベントを再開した ・わからない
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	38%	63%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・公開されているかわからない ・公開していることは把握している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価を行っているかわからない ・第三者委員による評価は行っていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	88%	13%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・年に数回様々な業務内容の研修に参加する機会が設けられている ・勤務年数に見合った研修に参加出来ている
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	63%	38%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に入る前、支援の中で会議を行い観察する点を全員で確認し支援に入っており、またノートにも記録し共有出来ている ・個別支援計画は作成しているが、定期的な面談や評価が出来ていない ・ケース会議をしている ・分からない
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	38%	50%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・児発官を中心に見立てをしている。(評価スケール等の運用はない)どちらかという主観的アセスメントが主? ・分からない ・状況に応じて記録している ・写真や絵などを使い、子供たちに伝わりやすい支援を心がけている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	88%	13%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で話し合いをしながら立案をしている ・リーダー、担当を中心に周りの意見を聞きながら立案をしている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	88%	13%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で話し合いをもち活動している ・イベントをするにあたってリーダーを決め、リーダー中心に担当を決め活動している ・分からない

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	38%	63%	13%	<ul style="list-style-type: none"> 活動計画は立てているか、課題を決めていない 出来ている時と出来ていない時がある 利用者一人ひとりと関わる際の課題は設定しているが支援はできていないように感じる 長期休暇の時、ミーティングの時間を取るべき 計画内容や支援内容をチームで話し合い、一つの目標に向かって支援をしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	38%	63%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの状況に応じてサービス計画を立てているか許容的ではない 利用者さんの様子をその都度話し合い計画作成に活かしている 分からない 宿題をしたい、体を休めたいなどの個人目標と職員との関わり方や友達との関わり方などの集団目標を組み合わせている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 支援前のミーティングで個々の支援内容について話し合い、ご利用者様に最適な支援が提供できるようにしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	38%	38%	25%	<ul style="list-style-type: none"> 終了後には、行われていないが翌日の昼礼にて行っている 職員全員で共有出来ているようには感じないが、気付いた点は報告をしているように感じる
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	75%	25%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 記録は引継ぎ表に記入し昼礼等で情報共有している 記録の記入は、まだ足りない 記録方法を改善し支援も良く出来てるように感じる 記録は一人でなく相談したり確認してもらい、次につなげている 休みの職員にも情報共有が確実に出来るように連絡ノートなどを活用している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	63%	38%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に所内カンファを行って行く事で評価として良いと考える。 分からない
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	13%	88%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインに合わせ工夫したり職員間で話し合ったりして支援を行っている 分からない 日常生活向上のための自立訓練や外出等の余暇活動、制作活動等も行っている
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	75%	25%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 児発管が中心に参加している 現場の状況等を収集し担当者が参画している 現場の状況や利用児童と関わりが長い職員が会議の出席や資料の作成をしている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	75%	25%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 事業所でなにかあった場合、まわりの関係機関との連絡を適切に行っている。 情報共有の際の確認事項を全員で確認し共有されているように感じる。 学校の年間行事、月毎の予定を頂き、それを確認しながら予定を組んでいる
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	25%	75%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 看護師を中心に運用中。 ケアが必要な方が常時利用されていないがアレルギーを持っている方に関しては、書面にて情報を得ている。 分からない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	13%	88%	0%	<ul style="list-style-type: none"> タテ割運用の為、就学前後の連動が弱い場面が多い。 発達支援センター以外の情報共有があるのか知らない。 今の日頃の様子だと適切であると感じる。 分からない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	38%	63%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 移行会議、モニタリングにおいて、情報提供を行っている。 分からない。

との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%	38%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・内部(ABA)研修を通し記録、検証を行っている。 ・必要に応じて連携し、研修なども行っている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13%	25%	63%	<ul style="list-style-type: none"> ・外部へ出る機会はあるが、そこで交流が図られる事は少ない。 ・全くない。これから色々なところで交流できると良い。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	13%	38%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・放デイ連絡会へ参加している ・参加していると思うが、詳しく分からない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	63%	38%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・伝え方が難しいケースも ・日々の引継ぎの際その日のことだけでなく家での様子や学校での様子の聞き取り、本人の状況を共通理解できるように努める ・スタッフ同士の情報交換を少し増やした方が良い ・事業所での様子は伝えている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	13%	50%	38%	<ul style="list-style-type: none"> ・困りごとを聞くときには一緒に考えたり、助言なども行なっている ・分からない
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	63%	38%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の際に官理職が行っている ・起きたことへの支援内容は説明しているが利用者負担はできていない ・丁寧に説明していると思うが詳しくは分からない
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	25%	63%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの悩みに対して必要な助言やアドバイスを行い、解決出来ない事は相談員などにつないでいる ・現場の職員に悩み相談はないように思う ・保護者への伝え方に難しいケースがあるように感じる
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13%	38%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は行っていたが、現在行っていない ・見学などを受け入れる体制は整っている ・分からない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	75%	25%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の際の苦情の窓口や責任者などをお伝えし、苦情があった場合は適切に対応している ・その日の内、また翌日の話し合いの時間に周知し対応が行えるように感じる。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	75%	25%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月事業所の様子を通信としてご家族へ配布している ・送迎時に活動概要や行事予定を伝えている。端的にしつつ内容の濃い伝え方をしていきたい
	35	個人情報に十分注意しているか	88%	13%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の場や外出時に大きな声で児童の名前を呼ばない、写真を使用する際は保護者へ確認をするなどしている ・個人情報が書いてある物を出しっぱなしにしておかない等注意している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	50%	50%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードや文字盤、手話などを必要に応じて行っている ・子どもたちに対しては写真やサイン等で伝えている ・子どもの特性や保護者の受容の様子に合わせた意思疎通に配慮している ・分からない
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	75%	25%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々やご利用者様に感謝を込めて『感謝祭』を毎年開催している
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	50%	38%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルをすぐに確認できる所に提示するなどして周知を行っている ・月1回の訓練の様子を保護者、または通信で発信も必要か要検討 ・分からない

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	・定期的に避難訓練を行い、避難場所・避難ルート・避難方法について確認している。また、建屋合同の避難訓練も年に2回行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	63%	25%	13%	・何が虐待になるのか、何が拘束になるのかなどを研修や日々のミーティングなどでその都度確認している ・分からない
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	25%	63%	13%	・やむを得ず身体拘束が必要になりそうな方については事前に説明を行い、ご家族からの了承を得ている。身体拘束を行った場合は必ずご家族へのお伝えし、記録も残すようにしてる ・契約時に説明をしていると思うが分からない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	・食物アレルギー調査票を配布し、アレルギーのある方は医師の指示書を持参して頂いている ・食事の際、確実に部屋を分けて対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13%	88%	0%	・ヒヤリハットや事後報告はその都度回覧し、同じことが続かないよう注意喚起の意味でも共有している ・事例集があるが分からない

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	38%	33%	28%	・もう少し広いほうがよい。 ・ここは狭い。 ・体を動かすことがなかなかできる状況ではない。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	66%	33%	0%	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	47%	47%	0%	無回答1人
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	90%	9%	0%	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	76%	23%	0%	・本人の希望だと思うが、固定した遊びしかしていない気がする。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14%	66%	19%	・よくわからない。 ・話を聞いたことがない。
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	85%	14%	0%	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	85%	14%	0%	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	52%	38%	9%	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9%	47%	42%	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	42%	57%	0%	・苦情があるのかどうかを知らない。 ・苦情を言ったことがないため、判定できない。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	80%	19%	0%	

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	71%	19%	9%	
	14	個人情報に十分注意しているか	95%	4%		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	52%	38%	9%	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	52%	38%	9%	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	85%	14%	0%	・どう思っているかわからないが、嫌がらずに通所している。
	18	事業所の支援に満足しているか	80%	19%	0%	・サテライトレルヒの森との連携の説明がよくわからない。 ・子どもはとても楽しみにしている。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日 / 休日 / 長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0%	33%	67%	・活動内容、曜日によって場所分けや別の部屋を借りる必要があるため、改善が必要。 ・以前から課題ではあったが改善されない。
	2	職員の配置数は適切であるか	17%	83%	0%	・他の業務との兼務する職員がとても多く、職員の人数が安定しない日が多い。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0%	67%	33%	・室内には段差は無いものの、多目的トイレ、エレベーターまでの距離が遠く、使うには不便である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	50%	50%	0%	・一人ひとりに目標を設け、振り返りを行った。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	50%	50%	0%	・ガイドラインの結果を通して活動内容については改善を行った。活動スペースについては、目的にそって場所を借りるなど、改善を行う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	67%	33%	0%	・昨年度より法人のホームページに掲載を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	17%	83%	0%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	・経験年数、職種、役職に沿った研修への参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	33%	0%	・モニタリング会議等に参加し、他事業所とも課題を共有し計画を立てるようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	17%	83%	0%	・事業所毎に様式に違いがあるため、今後統一できる場所は無いかが検討中。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	33%	50%	17%	・主で企画するスタッフを持ち回りにし、職員で案を出しながら立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	67%	17%	17%	・月毎に季節の行事や、制作、調理活動を織り交ぜながら、固定しないように心がけている。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	0%	83%	17%	・利用児童が増える長期休みについては見守りの時間が多くなってしまう傾向が見られる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	33%	0%	・個々の課題と小集団の中でのスキルアップを目指した計画作成を心掛けている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	・昼礼時に活動の確認、利用者状況の確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	33%	50%	17%	・職員全員揃うことができないため、緊急の案件以外のものは翌日の昼礼で共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	67%	33%	0%	・申し送りが必要なものについては記録に明記し、職員間で共有を行うようにしている。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	50%	50%	0%	・モニタリング会議に出席した際に課題を共有し、計画するように心がけている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	50%	50%	0%	・ガイドラインのアンケート結果を見ながら、行事や活動内容が偏らないように支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	67%	33%	0%	・児童発達管理責任者の出席に加え、現場担当者より情報収集を行い、会議に出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	67%	33%	0%	・行事、下校時間などは行事予定をもらいながら確認を行っている。普段の様子についても適宜、情報提供を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	100%	0%	・医療的ケアが必要な利用者がいないが、服薬に関しては関係機関と連携をとっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	17%	83%	0%	・保育園への訪問、子ども発達支援センターからの情報収集を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50%	50%	0%	・以降会議には可能な限り出席し、障害特性や過ごし方など情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	17%	83%	0%	・特定の職員は連携を取る場面は多い。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50%	50%	0%	・放課後児童クラブのと行事や、地域の児童館などを活用しながら活動を行っている。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0%	83%	17%	・意見交換会、事例検討会などには参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	67%	33%	0%	・帰宅時の引継ぎや、連絡ノートを活用しながら様子を共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	83%	17%	・全ての保護者にできているわけではないが、相談があった時は時間を取るようにしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	67%	33%	0%	・全て説明を行っているが、伝わり切れない部分もあり、今後伝え方の検討が必要と考える。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	17%	0%	・相談があった時は時間を取るようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	17%	0%	83%	・今後、開催に向けて検討。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83%	17%	0%	・苦情解決窓口を設置し、苦情あった際は対応する体制は整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	67%	17%	17%	・月に一度、事業所全体の会報を発布し、活動内容の報告や体制の変更について周知している。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	・個人情報については、不必要な口外はしない。 ・個別ファイルについては鍵のかかる場所で保管する。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	33%	67%	0%	・児童の特性にあった声かけを行っているが、改善が必要な場合もある。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	67%	0%	・地域の方にも来ていただく行事を年に一度行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0%	100%	0%	・事業所内、職員間では周知されているが、保護者の方への周知が不十分だった。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	・火災、地震を想定し、月に一度行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	17%	83%	0%	・担当職員は研修に参加するが、現場への周知をもっと徹底していきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	67%	33%	0%	・会議の際や日頃の様子の中で必要に応じて保護者と相談し、必要な児童については計画に記載するようにしている。

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	67%	33%	0%	調理活動やおやつの際に注意している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	67%	17%	0%	連絡ノートを活用し共有を行っている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	60%	40%	0%	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	60%	20%	20%	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	・玄関をどうにかしてほしい
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%	0%	0%	・着替えなど手を出しすぎ
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	60%	40%	0%	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	40%	40%	
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20%	80%	0%	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	40%	60%	0%	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20%	40%	40%	

	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	40%	40%	20%	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	80%	20%	0%	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	60%	40%	0%	
	14	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	60%	20%	20%	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	60%	40%	0%	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	80%	20%	0%	
	18	事業所の支援に満足しているか	80%	20%	0%	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日 / 休日 / 長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	67%	33%	0%	・平時職員1～2名に対して利用者3名である。 ・車椅子の利用者様が多いときは、ビーズソファ等を利用して過ごし方を帰ることでスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	67%	0%	33%	・重身の方が利用されているときは看護師1名配置される様配慮されている。 ・数字上は足りているが、現場では人手不足のため、効率の良い支援を検討する必要がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	67%	0%	33%	・既存の建物を活用している為、車椅子の通路が不十分。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	33%	33%	33%	・全職員で年2回個人目標を作成している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	67%	33%	0%	・アンケートは実施しているが有効回答も少なく活用できていない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	67%	0%	33%	・公開してない。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	33%	67%	・外部評価をしているのか現場職員には不明で、改善にも繋げていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	33%	33%	33%	・研修の機会が多い。業務につながるものは少なく他の部署の援助でしかないときもある。 ・業務体制の中、放デイに特化した研修に参加する事は難しい。
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	・日々子どもの状況を記録して。保護者にも報告している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0%	100%	0%	・標準化されたものは無い
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	33%	0%	・実際の計画にはチームで関わっているが、立案は各職員が行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	・新しいツールや施設の外に出る活動も加えている。 ・長期休みや行事等の際はプログラムがマンネリ化し似ようチームで検討している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	67%	0%	33%	・1日利用の際は日課を事前に作成してから支援にあたっている。 ・利用者の身体状況を見ながら活動を決めている。

切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	33%	67%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援が中心ながら、集団生活を意識した目標を加えている。 ・利用者の利用状況を考慮しながら計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	0%	33%	67%	<ul style="list-style-type: none"> ・事前打合せは特記事項が内場合は行っていない。 ・現状は、職員がそろふことは難しいがそれぞれが予定表などで確認を行い、必要に応じて打合せを行う。 ・業務体制の中、放デイ職員が時間の共有をする事は難しい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	0%	33%	67%	<ul style="list-style-type: none"> ・支援記録表と職員周知用のサイトで代替している。 ・共有すべき情報は、次の日の業務前に話し合う ・業務体制の中、放デイ職員が時間の共有をする事は難しい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	67%	33%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・支援記録表の雛形にそって記録している。 ・事実をそのまま記録に残すという点は意識しており、見返したときのために工夫している点でもある。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	67%	33%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてモニタリングが開かれ、計画を見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	33%	67%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇活動だけでなく創作活動や学習支援も利用者のニーズに応じて行っている。 ・利用者のニーズに合わせ、体調等その時々状態を見て支援を行っている。 ・ガイドラインの熟読は行っている。
関係機関や保護者と	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	0%	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数の関係で現場職員が参加するのが困難。 ・現状では難しいことが多いが、担当者が出席できない場合でも事前の打合せなど共通理解のうえ参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	67%	33%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて連絡調整を行っている。 ・送迎時の引継ぎの他、学校化らのお便りをいただくなどの情報共有はもちろん、突発的なことがあればすぐに連絡できるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医との連携は看護師が主に行っていると思われる。 ・緊急時は事業予感越しとの連携による対応体制になっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0%	0%	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に利用していた施設とは引継ぎ時移行接点が薄い
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	33%	67%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の情報は共有されるが具体的な支援に関しては引き継がれていない。

この連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33%	0%	67%	研修の機会がなく連携できていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	33%	67%	・交流が無い。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0%	33%	67%	・参加していない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	67%	33%	0%	・主に送迎時や連絡帳等で報告と共通理解を持つようとしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	0%	100%	・保護者に対して積極的に働きかける支援は行っていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	33%	33%	33%	・現場職員には運営について保護者に説明する権限がなく、規定についても定まっていない。 ・契約時及び、必要に応じて保護者に伝えている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	33%	33%	33%	・相談があれば、必要に応じて助言や援助を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	0%	100%	・保護者同士の活動の支援は行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	33%	67%	0%	・苦情に対して適切に対応している。 ・必要に応じて対応している。 ・受け付けた苦情に関しては迅速に共有し、対応対策を検討している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	33%	67%	0%	・事業所の様子をまとめた便りを定期的発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	67%	33%	0%	・情報発信や利用の記録について配慮している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	67%	33%	0%	・コミュニケーションツールを使い分けて対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	33%	33%	・地域住民にもPRしているが、参加される方は殆どいない。 ・年に一度の感謝祭や、地域の避難訓練に参加するなどしている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	67%	0%	33%	・保護者への周知が出来ていない。 ・職員にはマニュアルをもとに流感時期などひつようにより訓練の機会があるが、保護者にはお伝えし切れていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	・毎月防災訓練を利用者も参加して実施している。 ・月に一度の避難訓練を実施している。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	0%	67%	33%	・虐待防止を訴える研修に参加できている職員もいる。 ・企業内研修や外部研修など研修報告等 は行われている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	33%	33%	33%	・組織的な基準が無く、了解を得ているかも不明である。 ・モニタリング会議を経て、サービス等利用計画書及び個別支援計画書に記載されている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	67%	33%	0%	・保護者から情報提供を頂いて、食事提供をしている。 ・アレルギー調査を実施。必要に応じて石家らの指示書を7提出してもらっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	67%	0%	33%	・作成していない。 ・事業所内で回覧されている。